



兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2011 9



今年も県内会員生協にて平和に関するさまざまな取り組みが企画・開催されました。(関連記事P.4~7)

— 人とひとの心がふれあう、暮らしよい兵庫をめざして —

みんなであう 医療生協をめざして

ひまわり医療生協田島診療所は、JR立花駅から南西に歩いて8分のところにある。幹線道路からゆっくり曲がる昔ながらの道を残す少し奥まったところにあり、駅前の喧噪からは想像できないくらい静かである。

雨上がりの朝は、駅から西に向かつて抜けるような青空を見上げながら、思わず愉快的気分になり、鼻歌まじりの出勤になる。家並みの瓦を歩くカラスの歩数を数えられるくらい静かである。梅雨が明けると、立て込んだ家々の庭木からの蝉の声が、いつそう大きく聞こえる。

診療所建設の用地さがしに大変苦労をした。「このあたりは、住みやすいところなので、ひと

の出入りが少ないんですよ」と不動産屋が、物件の動きの少なさを説明をしていた。震災の前の年の1994年のことである。

この地域に、診療所をつくるうという呼びかけがされた。

「私たちの住む尼崎市は、阪神間の中心に位置し、労働者の町として栄えてきました。現在は高齢化が進み、高血圧、糖尿病を始めとする成人病をもって暮らしている人がおおくになりました。整形外科の領域では、腰痛や肩こりの他に骨粗鬆症による骨折が大きな問題となっています。また、労働災害（労災）もかつての災害性疾患だけではな

CONTENTS

- | | |
|--|---------------------------|
| 2. 想点 | 9. 単協通信 甲南女子大学生協／神戸市民生協 |
| 4. ピースアクション2011 被爆ピアノ平和コンサート
開催 報告 | 10. 協同のかけ橋 |
| 5. ピースアクション2011 会員生協報告 | 11. 兵庫県のページ |
| 8. 2011年度 第1回理事会報告／
震災復興支援活動報告 ろっこう医療生協 | 12. 兵庫県生協大会のご案内／県連日誌／編集後記 |



ひまわり医療生活協同組合 専務理事

徳田 幸博

(とくだ・ゆきひろ)

く、慢性的な疾患の比重が高まり、表に現れない職業関連性疾患も増えています。

こうしたことを考えると、病気がとうまく付き合っていないながら、地域の中で生き生きとした生活を送れることが大切だと思います。

医療の主人公は患者であり、地域の主人公は住民です。地域で生き、地域で働くものを中心になつて、診療所の職員と共に住民の要求に誠実に対応できる医療、福祉を作り出すことが望まれています。

私たちは、多くの人々が参加する力で『そこにいけばなんとかなる。』と安心感をもつてもらえるような診療所、労災、職業病をきちんとみていける診療所を作りたいと思います。」

(田島診療所設立趣意書より)

設立の賛同・出資のよびかけを始めた。その翌年、阪神淡路大震災がおこった。でも、1995

年秋に田島隆興医師を迎えて診療所を開設した。そして、「将来的には住民がもつと積極的にたずさわられる医療生協にしていきたいと考えています」と宣言して。

その後何年かたったある夏の夜、診療所近くの駐車場の車の下で寝ている3人の子供を見かけた。まだ小学校にも行かない幼子である。こんな遅い時刻にと声をかけると、「家に帰りたいくない」という。近くに住む兄妹らしい。やさしい親のぬくもりが欲しい年齢好である。帰りたくないとは、どう受止めたらいいのか……。

「ファミリールレストランに日曜の午後8時、幼稚園児くらいの子が1人で食べにきた。レジ台が高く、背の低い園児は顔が見えないまま、お金をだしてきた。バイトの高校生は、胸が痛んだという。別の生徒も駅近く

でパンツ1枚姿の4、5歳の男児を見かけたことがある、と語った。肌寒い時期、男児は自動販売機をじつと眺めていた。」

(朝日新聞2010・11・12)

私たちの診療所でも、健康保健のある時は受診するが、雇用を打ち切られ保険がなくなると来なくなったり、必要な検査を渋る患者さんもいる。

解決策が、すぐに見いだせないかもしれないが、思いは持ち続け、向き合っていこう。「困っている人に共感し力を尽くそう」のスローガンを大切にして。

2000年4月に田島診療所は、ひまわり医療生活協同組合に法人化した。

そして、2011年6月に兵庫県生活協同組合連合会にも仲間入りさせていただいた。

地域で生活と暮らし、健康をみんなで支えあう医療生協をめざそう！

ピースアクション 2011

「被爆ピアノ平和コンサート」を開催

兵庫県生協連では、毎年、県内の地域・医療・共済・大学などのいろいろな分野の生協と一緒に、平和の大切さ、尊さをみんなで考え、確かめ合う場としてピースアクションの取り組みを行っています。

この度、2009年・西宮市、2010年・明石市でそれぞれ開催し、今年で3回目となる「被爆ピアノ平和コンサート」を今回は、8月10日(水)に神戸市東灘区民センターうはらホールにて開催しました。当日は、参加を応募いただいた組合員、招待者と関係者を合わせて454名の参加がありました。



ピアノ調律師 矢川光則さん

今回使用した「ミサコの被爆ピアノ」は、広島市で原爆投下時、爆心地より1.8kmの民家で被爆しました。原爆の爆風により、無数のガラスの破片が突き刺さり、ひどく傷ついたピアノは、平成17年7月に所有者のミサコさんより、ピアノ調律師の矢川光則さんに託され、現在、平和の大切さを伝えるために全国各地でコンサートを開いています。

冒頭に兵庫県生協連・大西専務理事より挨拶の後、ヤガワ音楽調律センター・ピアノ調律師の矢川光則さんから、被爆ピアノとの出会いについて、また、ご自身の活動や核兵器の現状についてお話をいただきました。矢川さんは、「現在、世界を何度も破壊できるだけの核兵器が存在します。今、すべての地球の子どものために、私達が核兵器の恐ろしさや平和の尊さについて伝えていかなくてはならないと思います。本日



ピアニスト・吉川絢子さん、ソプラノ歌手・中川詩歩さんによる演奏

の被爆ピアノの音色が、改めて皆さんに平和について考えていただけるきっかけになればと思います」と語られました。

続いて、ピアニストの吉川絢子さん、ソプラノ歌手の中川詩歩さんによる、「ミサコの被爆ピアノ物語」の朗読と「月光」、「ノクターン20番遺作」、「アヴェマリア」、「アオギリの歌」などの演奏がありました。また、コープこうべからコープサークル「ベルリンガーズLene（レーネ）」の皆さんによるハンドベル演奏、コープこうべ組合員の田邊依子さん、岡紀子さんによる「さいごのトマト」（作/竹本成徳）の朗読、そして、一般公募で応募された信夫愛梨さん、岩田絢子さん、田畑帆奈美さん、川口七海さんによるピアノ演奏もありました。最後に会場の参加者全員で「ふるさと」を合唱し、鳴り止まない拍手に「上を向いて歩こう」が、アンコール曲として演奏され終演となりました。

当日は、ピースアクション委員の六車恵美子さん（コープこうべ組織政策推進室）が司会進行を、その他



サークル「ベルリンガーズLene」の皆さんによるハンドベル演奏



休憩時には、多くの方に舞台の被爆ピアノを間近で見いただきました



コープこうべ組合員の田邊さん、岡さんによる「さいごのトマト」の朗読

の委員は、ピアノ搬入から舞台進行、舞台設営や出演者誘導、入場受付、会場整理、などを分担し、力を合わせて運営にあたりコンサートを無事に終えることができました。66年間の歳月を乗り越えた被爆ピアノの美しい音色に改めて「平和の尊さ」について想いを寄せた、心に残るコンサートになりました。

ピースアクション2011会員生協報告

◆ コープこうべ第1地区本部 ◆

7月24日(日)、大阪北地区の組合員さんも一緒に「平和のつどい」を開催しました。(120名参加)池上寿美子さんの、やわらかでやさしい「ハンマーダルシマー」演奏のあと、野村路子さんに「子供たちの絵が語るもの」アウシユビッツに消えた幼い命」のテーマで講演いただきました。



第二次世界大戦中、ナチス・ドイツによるユ

ダヤ人への迫害、剥奪、虐殺の現実。そして、戦争すら理解できない幼い子供たちが捕虜収容所での過酷・残酷な労働(死体から金歯を抜く仕事など)や人間以下の扱いのなかで、表情も言葉も失って行く。そんな中、同じ収容所にいた画家が密かに絵の教室を開き、子供たちは一時でも笑顔を取り戻すことができた。その絵が戦後4千枚見つかり、野村さんはその絵を「子供たちの生きた証」として、生き残った画家や子どものお話をとお話していただきました。

続いて、8月8日(月)、西宮プレラ

ホールにて大阪北・第1・第2地区合同で永井隆原作、木下恵介監督の「この子を残して」の映画上映会を開催しました。(参加者150名)

昭和58年の古い映画ですが、スクリーンを通して長崎市で被爆した永井隆博士の存在や考え、足跡を知っていただき、あわせて、平和や原爆について考える場にしたという想いで実施しました。映画の最後、永井隆博士が死ぬ直前に、息子へ語りかけた言葉「敵も愛しなさい。愛し愛し愛し抜いて、こちらを憎むすきがないほど愛しなさい。」の言葉が印象的でした。また、原爆投下後のリアルな映像再現は戦争反対への強い想いや原爆に対する恐怖を強く感じるものでした。

(ピースアクション委員 北脇愛生)

◆ コープこうべ第2地区本部 ◆

第2地区では、今年度も「平和の活動を考える会」を発足し、委員の皆様と一緒に取り組みをすすめています。今回、委員によって企画した「平和のつどい」は、皆様も良くご存知の、歌手でユニセフ大使でもあるアグネス・チャンさんの講演会でした。

8月22日(月)は残暑にも関わらず、西宮・芦屋・神戸、遠くは加古川から参加いただき参加者は250名になりました。最初に、今回後援いただいた西宮市、芦屋市を代表して西宮市長の河野昌弘様にご挨拶をいた



だき、続いて、第2地区選出の上美恵子理事から開会の挨拶の後、「虹つ子スタディーツァー報告」として、「スタディーツァー in 沖縄」の参加者から「学んだこと、感じたこと」をご報告いただきました。

その後の講演会では、「小さな命からの伝言」(21世紀へのメッセージ)をテーマに、世界各国を訪ねたアグネス・チャンさんが、過酷な状況の下で生きている子ども達との出会いで感じたことや、エチオピアをはじめ、スーダン、イラク、ダルフールなどの戦場の話、これからの21世紀をいかに生きるべきかなどを、子どもと母親の視点から熱く語っていただきました。そして最後に、「しあわせの花」という歌を手話付きで披露していただき、和やかな雰囲気

で講演会を終了しました。

(ピースアクション委員 鳩岡圭二)

◆ コープこうべ第3地区本部 ◆

7月9日(土)、生活文化センター2階ホールで、「平和を願うつどい」を開催しました。地区平和企画委員会が企画運営するこの催しに200人が参加し、ピースメッセージ458枚が寄せられました。

今回は平和について考えると同時に、東日本大震災の支援もテーマにしています。

第1部はバイオリン・村田隆子さんとピアノ・武井泉さんによる「絆コンサート」。被災地のくらしに思いをはせながら「見上げてごらん夜の星を」などを全員で歌いました。第2部はカンペンガ・マリールイズさんによる講演。内戦後子どもたちを連れて難民キャンプで生活した経験のある彼女は現在福島に居を構え、祖国に学校を建てる活動を展開。その最中、大震災・原発事故が発生したのです。「築いてきたくらしが一瞬にして失われる悲惨さは戦争と同じ。」とマリールイズさん。被災後、大使館から帰国を勧められましたが、「内戦を生き延びてきた自分だか



ピースアクション2011会員生協報告

「日本が教育水準の高さはみなさんのご先祖が努力して築き上げてきたもの。必ず教育の力で東北は立ち上がります。子どもたちが夢を描ける平和な世界をめざしましょう」としめくくりました。

(ピースアクション委員 岩本 衛)

◆ コープこうべ第4地区本部 ◆

7月17日(日)、北神区民センターで「地球のステージ3」を開催し、組合員・職員あわせて約270人が参加しました。

地球のステージは昨年夏の「地球のステージ2」の開催に引き続き、第4地区では2回目。世界の難民キャンプや紛争地で救援活動が続いている桑山紀彦医師が、活動の様子を映像と共に、オリジナル曲の歌と演奏で、ご自身の活動や熱い思いを紹介されました。



ケニアの温暖化の問題やスリランカの津波など、世界

の現状と支援の様子映像に続いて、3月11日の東日本大震災で被災したご自身のクリニックの状況や、支援活動を紹介します。避難を呼びかけるうちに亡くなった男性や、津波にのまれた家からシクラメンを見つけた女性の話などに、会場では目頭を抑える人の姿が見られました。「震災で失くした物は多いが、人の絆を得たり学んだ事は多い」という桑山さんの力強い言葉が印象的でした。参加者からは、「気づきがあった」「感動しました」などの声が聞かれました。

講演後の質疑応答では、大学生から質問が出るなど、出演の皆さんと参加者相互の思いの深まったステージとなりました。

(ピースアクション委員 南野義彦)

◆ コープこうべ第5地区本部 ◆

7月29日(金)、「平和のつどい」復興と平和への祈りコンサート」を垂水レバンテホールで開催し、組合員530名が参加しました。

冒頭、八尾理事が、「コープこうべの『平和へのちかい』には、『平和』の反対語として、『戦争』だけでなく『大きな自然災害や激変する社会不安』という言葉が書かれています。すべての人々が安心してくらせる社会を次世代に引き継いでいけるように、

本日のイベントを東日本大震災からの復興と平和について、考える機会にしてください」とあいさつしました。

第1部では、東日本大震災直後か



ら救援にかけつけ、その後は避難所などで演奏活動を行ってきた、「神戸市消防音楽隊」が登場。続いて、全国で唯一「環境防犯科」を持つ舞子高校の生徒2人が、被災地でのボランティア活動の様子を報告しました。

第2部、全盲のテノール歌手新垣勉さんのコンサートでは、1曲目から、深く伸びのいい声が会場を魅了。新垣さんは、米兵の父と日本人の母の間に生まれ、生後まもなく失明するなど、波乱万丈の半生を送られています。ご自身の経験を通し、「共に生き、ともに助け合い、互いに関心を持って生きていくことで、平和な社会を築いていきましょう」とメッセージを送られました。

アンコールの「アメイジング・グレイス」では、「思わず涙がでました」という組合員も多数おられるなど、感動のフィナーレとなりました。

(ピースアクション委員 吉村恵理子)

◆ 神戸医療生活協同組合 ◆

この夏も平和を守る熱い取り組みが行われました。7月10日は平和行

進の全国・兵庫県の通し行進者の歓迎会を81名の参加で行いました。手作りのおにぎりや御馳走で和やかな雰囲気の中、民謡と踊り、銭太鼓、フラダンスの余興で大いに盛り上がりました。行進者の方々との親交も深め、来年の再会を約束し、8月の原水禁止世界大会に向けて、地域での運動を進めていくことを確認しました。

8月6～9日まで長崎で開かれた原水爆禁止世界大会には20～30歳の若者たちと組合員78歳と62歳の2人を含めた14名参加をしました。特に今年は福島原発の事故があり、核兵器廃絶、原発はいらないの運動が全国で大きく広がっていることが全体会でも分科会でも議論されました。



参加者からはこれから地域でも核はいらない原発ゼロ、平和を守る運動を強めていきたいとの思いが語られました。職場では早速報告集会も開かれ、来年もぜひ参加したい、広げたいと力強い報告が行われました。

これからの平和社保委員会の取り組みは11月1日に新長田ピフレホールで「きたがわつつ平和コンサート」

ピースアクション2011会員生協報告

を開催します。憲法改悪を許さない、平和憲法を守る「日本国憲法前文」、非核神戸方式を全国に広げる「波よひろがれ」、「元気が出る「まつり」など会場いっぱい、きたがわてつさんと平和を願う歌声を響かせます。
(平和社保委員会 委員長 木下清子)

◆阪神医療生活協同組合◆

8月7日(日)に「誰のせいやねん?あの戦争」(次世代に語り継ごう戦争体験Ⅲ)と題して、戦争体験談を聞く会を開催しました。今年で3回目となるこの会ですが、今回は九三歳の加藤豊長さんからお話頂き、組合員47名が当時の話に耳を傾けました。

加藤さんは、旧満州(現在の中国東北部)へ十九歳で渡り、満州鉄道で勤務していました。当地で終戦を迎え、日本へ引き揚げる途中、列車内で共産党軍の検閲を受け、また支配地域が
変われば、
国民党軍の
検閲を受け
たりと、大
変な思いを
されたよう
です。
中国内で
抑留生活を
強いられた
ため、日本
へ引き揚げ



たのは三二歳の時でした。日本での生活も、仕事もなく、苦勞をされたそうです。

70年以上前の記憶を正確にお話しされた加藤さんは、今は毎日の健康に人一倍気を遣い、趣味やユーモアを大切にしながら、元気に過ごされています。

93年の歴史の重みを皆でかみしめる時間となりましたが、このような機会を、これからは若い世代にも聞いてもらいたいと思います。
(阪神医療生活協9条の会事務局 大石眞吾)

◆姫路医療生活協同組合◆

6月21日と7月26日の2回、『平和カフェテリア』を開催しました。

梅雨の晴れ間のカフェテリアで「ちらし寿司」「いなり寿司」「おはぎ」「ホットドッグ」を増位・飾磨・花田・四郷など多くの支部のみなさんの協力で朝7時から調理。職員もこの日は昼食をカフェテリアのメニューにして協力。事前に事業所から注文を受け、順次配達していきました。共立病院前の販売もあつという間に売り切れてしまいました。経費を差し引いて約7万円の収益を上げることができ、原水爆禁止世界大会に代表を派遣するために使われました。

また、5月6日に東京・夢の島を出発した『国民平和行進』が、7月13日に姫路市大塩に入りました。16日の岡山県へ引き継ぐまでの4日、



多くの団体・個人が平和を願って歩きました。あほし診療所前で行進団を迎え入れ、スポーツドリンク等を励ました。太子町役場では冷やしたトマト、たつの市役所ではスイカが出されました。

(組合員サービス部 廣坂文雄)

◆ろっこう医療生活協同組合◆

8月6日(土)、神戸市灘区のシマブンホールにて、「福島原発事故と日本のエネルギー行政」をテーマに、原発セミナーを開催しました。講師は、元京都大学原子炉実験所の教員で、原子力発電所専門家の岩本智之氏。参加者は120名でした。講演では、この度の東京電力福島原発事故では、緊急時に動くはずのデューゼル自家発電が津波で破壊され、非常用炉心冷却装置が働かなくなった

こと。温度・圧力の上昇により、水素爆発、メルトダウン(炉心溶融)が発生、五重に守られている原子炉が破損されたことなどが解説されました。放射能汚染による被害は、今でも生活全般に及んでいます。そして、原子力の四つの「神話」(①原発は安全②石油資源は枯渇する③原子力は安い)から脱却し、日本における自然エネルギーの潜在的な力が高いこと、自然エネルギーへの転換を訴えられて、講演を終りました。



そして、福島中央市民医療生協の橋本氏より、3月11日から今日までの福島市民の生活実態が紹介され、日常生活の面で様々な不便や不安を感じ、特に子供達には大変厳しい状況であることが紹介されました。最後に、水道筋商店街で活躍する演奏グループ「なだふい」による福島を応援する歌「I love you&I need you ふくしま」などが演奏され終了しました。当日はカンパが26715円集まりました。ありがとうございました。
(通信員 古市賢二)

2011年度 兵庫県生協連 第1回理事会報告

- I.開催日時 2011年8月1日(月) 午後3時2分～5時12分
 II.開催会場 兵庫県民会館 12階「1201」
 III.出席者 本田会長理事、寺尾副会長理事、大西専務理事、
 板崎、高橋、福島、大槻、新保、伴、大沼、井上、小野田、酒井(以上、理事)
 藤田、金丸、秦(以上、監事)

<報告事項>

- (1) 「会員生協の概況報告」について、各出席理事・監事より報告
- (2) 前回理事会～8月初旬までの兵協連諸行事・諸活動報告
- (3) 兵庫JCCの取り組み報告
- (4) 2011年度兵協連研修実施報告と計画(案)
- (5) 第23回近畿地区生協・行政合同会議の開催について
- (6) 会員生協概況報告
- (7) 神戸大学生協の日生協会員の脱退について
- (8) 兵協連第1回生協対策資金貸付審査会開催報告
- (9) 兵協連第1回監事会開催報告
- (10) 兵庫県環境審議会(廃棄物部会)委員の就任について
- (11) 兵庫県県民生活審議会専門委員の就任について
- (12) ひょうごエコフェスティバル実行委員会委員の就任について
- (13) ひょうご森のまつり2011の後援について
- (14) 兵協連定款・規約・規則について
- (15) 2011年度兵協連主要行事スケジュールについて

<協議事項1>

2011年度生協功労者表彰(県知事感謝・兵協連会長表彰)の件

<協議事項2>

2011年度生協大会の開催案について

<協議事項3>

第10回兵庫県健康福祉部・兵協連理事会との懇談会の開催について

<協議事項4>

平成24年度自治体当初予算編成にあたっての要望書について

<協議事項5>

2011年度会員生協役職員体育大会の開催について

<協議事項6>

神戸市立工業高等専門学校生協の兵協連加入について

以上、6つの協議事項が全員の賛成で承認されました。



東日本大震災復興支援
 つながろう
 CO-OP アクション

震災復興支援活動報告

ろっこう医療生活協同組合

ようこそ！福島の子どもたち

～福島っ子、神戸で笑顔と歓声～

福島原発事故は未だ収束するめどが立っていません。現在福島県民は日常生活の面で様々な不便や不安を感じ、特に子供達には大変厳しい状況があります。ろっこう医療生協では、少しでも福島の子供達に心身をリフレッシュしてもらおうと、夏休みの期間を利用して、福島中央市民医療生協の職員の子どもたちを神戸にお呼びし、5日から8日まで、3泊4日の日程で23人が訪れ、神戸を満喫してもらいました。



8月5日 到着した一行を迎えて、なだ組
 合員集會室で歓迎会のような

中、歓迎のあいさつ・神戸のまじりの紹介などがあり、福島の子どもたちを代表してのあいさつをいただいた後、

地元の水道筋6丁目駅前商店街の方からのプレゼント贈呈や、理事による見事なマジックを披露、子ども達から歓声が上がりました。

その後一行は、4日間の日程で、王子プール・王子動物園・須磨海浜水族園・「アトリエ太陽の子」・異人館などを訪れ、被災地での窮屈な生活をひととき忘れて、久しぶりの歓声をあげて楽しめました。これらの模様は、引き続きNHKや民放各社も取材・放送するなど、地域にも発信されました。

(通信員 古市賢二)



8月7日 須磨水族園に行ったあと、午後から住吉の「アトリエ太陽の子」を訪問、神戸の子ども達と「自画像」を描き、さらにTシャツに図柄を描き、それをプレゼントされました。



王子プールにて

甲南女子大学生生活協同組合

TABLE FOR TWOの活動に

取り組んでいます

甲南女子大学TFT委員会は、途上国の飢餓問題や先進国の飽食問題の解消を目的としたTABLE FOR TWOの活動に取り組んでいます。

その活動に甲南女子大学生生活協同組合としても協力し、学内の生協食堂で「20円の寄付金付TFTヘルシーメニュー」を販売しています。TFTメニューを1食購入していただくごとに価格のうちの20円がNPO法人TABLE FOR TWOを通じてアフリカに贈られ、この20円はアフリカの子どもの1食分の学校給食費に相当します。

このように、身近な「食」を通じて甲南女子大学の学生や教職員の「食」に対する意識が少しでも高まることを目指し、普段ボランティアやチャリティーに関心のない方も気軽に参加できる社会貢献の方法を実施しています。30食限定販売の日替わりTFTランチボックスは毎回、販売開始からわずか10分ほどで完売します。実際に、TFT委員会のメンバーが販売に立ち

会ってメニューの呼び込みをしているときには、学生から「う



わー、おいしそ
う！」という声
をたくさん聞く
ことができ、メ
ニュー開発の楽
しさを感じま
す。またTFT
メニューを購入
していただいた
方に「おいし
かったよ」「また食べたいなあ」と言っ
ていただいたときは、TFTの活動
にさらにやりがいを感じます。



7月は新メニュー「夏野菜カレー
(390円)」を販売しました。ナス
やブロッコリー、パプリカなどの野
菜をふんだんに盛り付け、ご飯は
十五穀米を使用した彩り鮮やかな一
品です。他にも「野菜春雨スープ」
や「もずくスープ」など、ヘルシー
なメニューを続々実現しています。

TFT委員会が考案したメニュー
が実際に食堂で販売され、「おいし
い」と喜んで食べていただけること
がこの活動の醍醐味です。利用者に
社会貢献を押し付けるのではなく、
気軽においしく参加していただける
よう、これからもTFT委員会は活
動に取り組んでいきます。

(通信員 塩田恵美)

神戸市民生活協同組合

風見鶏の館で

ピアノ発表会を開催しました

7月27日(水)、8月5日(金)の二回に
わたり、風見鶏の館にて小学生から
高校生までの子どもたちによる「ピ
アノ発表会」を開催しました。

これは日頃異人館を訪れることの
少ない子どもたちにより親しんでい
ただくとともに、日頃の練習の成果
を発表する場を提供しようと5年前
から始められたものです。毎年多く
の方に参加いただき、開催を心待ち
にしてくださる方も多い催しとなっ
ています。

今年も2日目突然の雨にみまわ
れるというあいにくの天気になりま
したが、子どもたちは両日とも一生
懸命にピアノを弾いていて、会場は
大変盛り上がり上がっていました。クラッ
シックからジャズ、アニメのテーマ
曲まで様々な曲が演奏され、いづれ
も「ピアノが大好き」という子ども
たちに、通りがかりの観光客の方も
拍手を送っておられました。

今から百年ほど前、風見鶏の館を
建てたトーマス氏の家族も同じ場所

でピアノ等を演奏していたそうで
す。これからも音楽に関りの深い館
として、市民の方々向けのコンサ
ートの開催など、様々な企画を催して
いきたいと思えます。

(通信員 鹿田裕子)



なかよし二人組での演奏も

協同組合のかけ橋

JF 兵庫県漁業協同組合連合会

干しダコ出来た!! ～「夏休みジュニアアカデミー」開催～



宗和講師の干しダコ講座



立派な“干しダコ”が完成

8月3日(水) 兵庫県水産会館において、明石市生涯学習センターの「夏休みジュニアアカデミー」が開催されました。

今回はその1回目の「干しダコ作り」。講師は、JF兵庫漁連指導部 宗和 貴光統括代理が務めました。

当日は絶好の“干しダコ日和”。午前の部・午後の部併せて24組の親子が参加しました。講習が始まると、タコの下ごしらえ・捌き方等皆さん興味深く講師の手さばきを見つめていました。

干しダコ作りに準備されたのはもちろん活きのいい地元「明石ダコ」。初めての作るという参加者ばかりで悪戦苦闘していましたが、最後には立派な“干しダコ”を完成させており、出来た干しダコは夏の日差しを浴びて風に揺れていました。

なお、翌週の講座では、この干しダコを使ってタコ飯等料理に挑戦しました。子供たちにはよい夏休みの思い出となったようです。

JA 兵庫県農業協同組合中央会

「JA兵庫・TAC推奨品の店」 をオープン

～TACを中心とした担い手支援の拠点に～

JA全農兵庫は、7月21日(木)、兵庫県内JAが、TAC（地域農業の担い手に出向くJA担当者）を中心に、県産の特長ある農産物の販売と産地づくりの取り組みを紹介し、消費者から評価や意見・要望を確認することを目的とした、「JA兵庫・TAC推奨品の店」を、神戸市の「長田中央いちば」内にオープンしました（7月14日にはプレイベントを開催）。

県域での「TACの店」は全国に先駆けたものです。今後、毎月1回（第4木曜日）に開催します。8月25日には「夏の味覚」、9月22日には「米」、10月27日には「秋の訪れ」などをテーマに、できる限り季節感のある食材を出店していく予定です。

【来店者の声（7/21開催のアンケート結果より）】

- ・月1回?もっと来て欲しい。
- ・消費者に、どんどん情報提供してください。
- ・JAの活動をもっと消費者にPRして欲しい。
- ・地産地消を重視しているので、兵庫のものを買います。頑張ってください。
- ・新鮮なものを提供してください。
- ・JAの商品は安心して買える。
- ・本当に安心できる商品を販売して下さると信じています。



大勢の来店者でにぎわう TAC の店



最近の消費生活相談事例

不安をあおる 点検商法にご注意を



事例

「近所で屋根工事をしている、ついでだからお宅の屋根を見てあげる」と高齢の母が事業者の訪問を受けた。カメラで撮影した写真を見せられ「危険な状態なのですぐに修理をした方がよい」と、屋根のふき替え工事を勧められた。事業者に言われるがまま高額な料金で契約してしまったが、料金は妥当か。また、本当に工事は必要なのだろうか。

【アドバイス】

「無料で点検する」などと言って家に上がり込み、消費者の不安をあおって契約させる「点検商法」による悪質な勧誘が目立ちます。

相談事例のような事業者の訪問を受けて契約してしまった場合は、契約書面を受け取って8日以内であれば、クーリング・オフにより無条件で契約を解除できます。

クーリング・オフ期間が過ぎた場合でも勧誘の方法等に問題がある場合や書面を受け取っていない、書面に不備がある場合など、契約を解消できる場合があります。早めに消費生活センターにご相談ください。

工事の料金や必要性については、訪問業者の説明だけをうのみにしてすぐ契約せず、複数の事業者から見積書を取り寄せるとともに、工事について十分に説明を受けるなど、比較検討するようにしましょう。

東日本大震災が起こり、多くの人が少なからず不安になっている今、「すぐに耐震補強工事をしないと家が倒壊する」「基礎部分に亀裂があり小さな地震でも家が倒れる」など、震災に便乗していると思われる商法が増えてくると予想されます。十分に注意しましょう。

(兵庫県生活科学総合センター)

MOVE

2011年度

兵庫県生協大会



協同が息づく兵庫のまちづくり

と き：2011年10月12日(水) 午後1時～4時30分

と ころ：兵庫県民会館・9階けんみんホール

神戸市中央区下山手通4-16-3 TEL(078)321-2131

>>第1部<<

記念式典

(午後1時～1時50分)

- ◆主催者あいさつ 兵協連会長理事
- ◆来賓あいさつ 兵庫県知事
神戸市長
兵庫県議会議長
- ◆生協功労者表彰 県知事感謝
兵協連会長表彰



>>第2部<<

東日本大震災 報告会

(午後2時～3時40分)

協同組合が社会を
よりよい社会を
よりよい社会を
築きます

報告会Ⅰ

- 「被災地のくらしを協同の力で支える」DVD放映
- 会員生協の支援活動報告
 - ・コープこうべ(地域購買) ・大学生協阪神事業連合(大学)
 - ・尼崎医療生協(医療生協) ・兵庫労働共済生協(共済)
- 「緊急時における応急生活物資供給等に関する協定書」
「近畿地区生協相互支援協定書」 「兵協連図上演習」

報告会Ⅱ

- 被災地からの報告
 - ・宮城県生活協同組合連合会 会長理事



即 売

東北地方の特産物

(午後3時40分～4時30分)
県民会館9階903号室

健康チェック

骨密度・体脂肪・ 血圧測定など

(午後3時40分～4時30分)
県民会館9階902号室

展 示

東日本大震災への 支援活動パネル

(午後3時40分～4時30分)
県民会館9階902号室

◆参加定員 350人 ◆入場料 無料(入場整理券が必要です) ◆お申し込み 各所属生協にてお申し込みください。

● お問い合わせ ●

兵庫県生活協同組合連合会(担当:今井) TEL:078-391-8634 FAX:078-392-2059 主催:兵庫県生活協同組合連合会

編集後記

パソコンの入力言語を変えたのは、3、4年前のこと、現在は、ローマ字入力ですが、以前は、かな入力でした。講演の録音を聞きながら、内容をパソコンで文章化する「テープおこし」の作業も多く、今は、出来るだけ早く入力できるように手元を見ないでキーを打つ練習中です。最近は、なんとなく、キーの場所を覚えたような気がするのですが、キーの場所を覚えずに、手元を見ながら入力すると笑える変換間違いになります。「生協」逝去、「研修会」夫種会、「お願いします」尾根が「石増す」、「ノクター」退く「ター」その打ち間違いには流行があるようで、何度も同じ間違いをすると、無意識に正しく打つようになるようです。そして現在の流行は「さんま」です。入力ミスの未遂は数知れず……。皆様、メールの宛名が「○○様」○○秋刀魚(さんま)になっていても、「秋」の季語ということでも、お許しください。(北山)



県連日誌

- 9月7日(水) 兵協連第1回医療生協部会組織担当者会議 (県民会館 ばら)
- 9月10日(土) 兵庫県・兵協連共催 コンプライアンス(自主統制力向上) 研修 (県民会館 福)
- 9月15日(木) 兵協連第3回生協活動委員会 (県民会館 ばら)
- 9月29日(木) 関西地連第2回運営委員会 (名古屋)